

マメ 新聞

マメな取り組みマジメに伝える

2018.10
第2号

グレートカンパニー アワード 2018 顧客感動賞を受賞



不動産業界では初の受賞！名だたる企業とともにレッドカーペットを歩く機会をいただきました。栄誉あるこの賞の概要や、受賞理由などについてご紹介します。

グレートカンパニーアワードとは？

国内有数の経営コンサルティング会社の「船井総合研究所」をご存知ですか？独自のコンサルティング手法を駆使して経営者がもつさまざまな悩みに答えています。当社も縁あって、過去にご支援いただいており、現在も定期勉強会等に参加させていただいています。船井総研は「社会に著しい貢献が期待できる法人などの発展を支援するため」に一般社団法人船井財団を設立し、一年に一度、グレートカンパニーアワードを開催しています。今年、このアワードにおいて、当社はグランプリの次に高い評価である顧客感動賞を受賞することができました。

サービスを考え、かたちにする力

グレートカンパニーアワードを受賞できるのは、選考対象となる全国 9,000 社のうち、わずか 8 社だけ。この狭き門をなぜ突破することができたのでしょうか。船井財団が公表している受賞理由に詳述されていますが、決定打となったのは、のうか不動産が提供する入居者サービスが真に入居者目線に立って開発されたも

のであったこと。かつ、社会問題の解決に繋がるものだったから、ではないでしょうか。ニーズを汲んだお部屋づくり、お部屋探しのお手伝い、お客さまからのリクエスト対応、建物の維持管理など、賃貸仲介・管理を業として営む者が取り組むべき事柄はしっかり押さえて。そのうえで、入居者サービスの提供によって、お客さまの大半を占める、学生や親御さまに支持いただき、しっかりとした収益構造をかたちづくることができました。「社会に求められているサービスを考え、かたちにする」この力が当社の独自性を支える柱です。このたびの受賞を励みに、さらなる高みを目指してスタッフ一同、研鑽をつづけて参ります。

<グレートカンパニーとは？>

社会的価値の高い「理念」のもと、その「企業らしさ」を感じさせる独特のビジネスモデルを磨き上げ、その結果、持続的成長を続ける会社のことです。そして、社員と顧客が「素晴らしい会社」と誇りを持つくらいの独特のカルチャーが形成されている企業、と定義しています。

<受賞理由>

同社は石川県金沢市に 4 店舗を持つ、不動産仲介・管理業を営む不動産会社です。金沢大学をはじめとする市内 8 校の学生と学校近隣の物件オーナーにターゲットを絞ってサービスを展開しています。同社が理念とする「マメな」サービスの提供と宣伝広告を推し進めるために専任者を置き、入居者となる学生の心をキャッチするためにいくつかの遊び心のある取り組みを展開しています。ロゴマークのマメのデザインをあしらった学校までの入居者専用無料送迎『マメバス』、数々の入居者特典が受けられる『マメックスカード』、入居者専門『ビーンズカフェ』等、学生入居者に感動を与え、金沢大学内にサービスカウンターを設置するまでに至っています。これらの取り組みで入居率を上げることで物件価値をも上げ、貸主・オーナーが管理を頼みたくなる好循環を生んでいます。不動産仲介・管理業では、一般的に「オーナーファースト」で進めるのに対し、「入居者ファースト」に視点を変えたことで、入居者とオーナーの双方から支持を得ている同社に『顧客感動賞』を贈らせていただきます。

※2018 年 6 月 1 日の船井財団プレスリリースより



2018年8月23日。船井財団の長澤理事長（左）より表彰を受ける。



紙吹雪が舞うステージでアワード受賞企業 8 社の代表が勢ぞろい。



今回の受賞のために尽力いただいた船井総合研究所の松井氏（右）。

特別マメゼミでは未踏の東北へ 震災から7年を迎えた被災地を訪ねました

のうか不動産では、お取引中のオーナーさま限定のセミナー“マメゼミ”を不定期で開催しています。不動産をはじめ保険や税金など、さまざまな分野の知見を広めていただく機会として企画しています。年に一度だけ“特別マメゼミ”という研修旅行に出かけており、第7回目の今年は、東北復興支援研修旅行と銘打ち小松から空路で訪問してきました。

<1日目>

ひとつ目の訪問先は、岩手県一関市の溪谷「厳美溪」です。風光明媚なところで、多くの方が記念撮影をされる姿が見られました。名物は「空飛ぶだんご」。溪谷の休憩所に設置されたワイヤーで繋いだ籠に代金を入れると、対岸のお店から商品が届きます。その後は「毛越寺」経由で「中尊寺」へ。岩手県平泉町にある、奥州藤原氏三代ゆかりのお寺です。平安時代の美術、工芸、建築の粋をあつめた金色堂をはじめ、多くの文化財が。建築や歴史が好きなオーナーさまには好評でした。13体の御朱印を集めて回るオーナーさまもいらっしゃいました。夕飯は仙台市内の「旧伊達邸／鍾景閣」で。100年以上の歴史を誇る伊達家の邸宅です。平成9年に天皇・皇后両陛下の御休憩所となったそうです。お料理がちいさな筆筒の引き出しに納まっていて、みなさん珍しがっていらっしゃいました。

<2日目>

朝からこの旅の一番の目的地「宮城県山元町」へ。県東南端の太平洋沿岸に位置する人口12,000人ほどのこの町は、ホッキ貝やいちごの産地です。堤防は町内全域で決壊し、沿岸地区6部落が壊滅状態となり、死者613名、行方不明者5名を出しました。一行はこの地区の中浜小学校へ向かいます。見渡す限り何もない大地に、ぽつんと建物が。窓ガラスやサッシは影も形もなく、門柱も倒れたままの、まさに廃墟です。津波は2階の天井まで達し、校長が児童・職員を屋上へ誘導。奇跡的に1人の犠牲者もなかったそうです。今回参加した幸せの黄色いハンカチプロジェクトは、語り部から当時のお話を聞き、ハンカチにメッセージを書いて現地へ送ると、小学校前の掲揚台に掲げてもらうことができる復興支援の取り組みです。手軽に支援ができるとあって、参加したみなさんは一様に喜んでいました。旅の締めくくりは日本三景のひとつ「松島」クルーズです。秋のすずしい風と美しい島々を楽しみました。カモメが船のそばを飛びつづけ、わたしたちとの別れを惜んでいるようでした。

今回の被災地訪問で、津波の脅威や震災規模を肌で感じ、防災・減災に対する意識が高まりました。今後有意義な体験を企画してまいりたいと思います。



松尾芭蕉が名句「夏草や 兵どもが 夢の跡」を残した「毛越寺」。



被災地の「中浜小学校」で。震災被害の凄まじさを実感。



「旧伊達邸／鍾景閣」で筆筒料理に舌鼓。クイズ也大盛り上がり。



日本三景のひとつ「松島」にて参加者全員で記念撮影。

【旅程】

1日目 小松空港 → 仙台空港 → 厳美溪 → 毛越寺 → 中尊寺 → 仙台泊
2日目 山元町 → 松島港 → 仙台空港 → 小松空港

【参加者】

オーナーさま 26名
当社スタッフ 14名 計40名

新部署紹介「CS推進室」

2018年7月に発足したCS推進室ってどんな部署なの？

どんな仕事をしているの？

CS推進室は、お客さまに満足いただくために、ファンになっていただくために、どうしたらいいかを考え、実行していく部署です。既存の業務を見直したり、あたらしい仕組みを導入するなどしています。直近では、卒業予定者の意向確認をするためのページに、よくある質問を掲載しました。使い勝手が向上して、お問い合わせの数が大幅に減りました。

今後、挑戦してみたいことは？

当社のお客さまは大半が学生さんです。彼らの学費負担を減らすために当社独自の奨学金制度の準備を進めています。また、さまざまな手続きをインターネット上で行える入居者専用サイト（マイページ）の開設をはじめ、社員の基礎知識向上のための研修や顧客満足度調査を進めていく予定です。どのサービスも高いレベルで提供できるように、毎日知恵を絞っています。



中野 尚子

小さなことから少しずつ改善して、それを積み重ねてみなさまの満足につなげていけたらと思っています！

結城 絵美

オーナーさま、入居者さまだけでなく、地域のみなさまにもファンになっていたけようがんばります！

石井 美帆

のうか不動産のアパートやマンションに入居してよかった、と思っていただけにがんばります！

マメックスカードに“ゴールド”が仲間入り

なんとワンオーダーが無料に

待望のグリーンカードの上位カードの登場です。お友だちを2人紹介するともらえるゴールドカードは全時間帯でワンオーダー無料という大型特典付き。さらにお連れさまにワンオーダーのプレゼントも可能です。一度にいろんなメニューを注文できる権利をゲットしてください！



ビーンズに“プルコギ丼”が登場

待望のご飯メニューデビュー

ホットドッグとトーストのみだったビーンズのメニューにご飯メニューが登場しました。韓国料理のプルコギを贅沢にご飯にのせた丼です。甘辛いタレに漬け込んだ牛肉とご飯の相性は抜群！1日限定10食で提供中です。ぜひ一度ご賞味ください。お腹いっぱいになりますよ！



のうか不動産
NOKA ESTATE Co., Ltd.

もりの里店 0120-36-3335 〒920-1167 金沢市もりの里2丁目21番地
小立野店 0120-22-5828 〒920-0935 金沢市石引1丁目7番1号
金沢駅前店 076-222-3332 〒920-0852 金沢市此花町3番2号 ライブ1ビル2階

【マメ新聞】第2号 2018年10月発刊 不定期発刊 無料
発刊元：株式会社苗加不動産